

# JICA 英国事務所

## 英国援助情報ヘッドライン

---

20 March 2006

Vol. 10

今回のトピック

ストロー外相:「中国のアフリカ進出は歓迎したいが、国際社会での役割を期待」(3ページ)



From: 英国事務所長

## < ニュース >

DfID が本部の改修にて発生した中古の PC1500 台を Data Links International という国際 NGO を通じて途上国へ寄付する。(2月22日)

スリランカに対する第二次紛争アセスメントがコロンボにて発表された。第一次は 2000 年に DfID が単独で作成したのに対して、今回は世銀、オランダ、スウェーデンの協力を得ている。内容は 2000 年以降にドナーが紛争に対してどのような対応をしてきたかと、今後の平和構築に寄与するかを分析するもの。(2月16日)

アフリカ委員会とグレンイーグルスサミットにて討議されたアフリカの成長と開発に必要な要素の一つである民間企業の育成を支援するためにアフリカ企業挑戦基金が提案された。基金の規模は 1 億ドルで、消費者あるいは生産者としての貧困民が市場に参加できるための斬新かつ未実施のビジネスモデルを提案する民間企業に資金を供与することを目的としている。基金のデザインは DfID の財政セクター挑戦基金やビジネスリンク挑戦基金の経験をもとにし、利害関係者の意見を踏まえて決定され、2006 年 11 月の発足を目指している。(2月8日)

ロンドンにて開催されたアフガニスタン支援国会合にて英国とアフガニスタン政府は 10 年間の開発パートナーシップ合意書に署名した。合意書では今後 10 年間で DfID が 3.3 億ポンドを拠出することが約束され、優先分野としては貧困削減と MDG の達成、人権の尊重や国際的な義務の履行、財政能力・アカウンタビリティ強化となっている。合意書には英国・アフガニスタン双方の役割が定義されており、それを履行しなかった場合の措置についても書かれている。(2月1日)

## < プレスリリース >

英国は旱魃の影響が著しいブルンジへ 300 万ポンドの食糧援助を WFP を通じて実施する。それにより、150 万人が裨益する。さらに、エチオピア、ケニア、エリトリア、ソマリアへ食糧、給水、保健衛生の支援として合計 2000 万ポンドを拠出する。(2月28日)

英国は新たに設置されたスーダン共同人道基金に 4000 万ポンド拠出した。この基金はスーダン全土において国連が機動的に動けるように資金を提供するものである。4000 万ポンドは 2006 年中に使われることを想定しており、英国が同年にスーダンに配布している人道援助予算の 60% 以上を占める。スーダン向け人道支援の残りの 2300 万ポンドは国際赤十

字や他の NGO に向けられる。(2月22日)

英国はアフリカ同盟 (AU) のスーダンミッションへ 2000 万ポンドの追加拠出を行う。この資金は車両 900 台以上を含む機材購入、軍や警察の研修、ダルフルールへ軍隊の配備に使われる。英国の対 AU スーダンミッションへの拠出額は合計で 5200 万ポンドとなった。(2月21日)

英国の大手小売・流通企業に対する取引の道德に関する研修が初めて実施された。この研修では流通において国際的に認知されている行動規範、典型的な労務問題、道德的な取引戦略における予期しない結果への対処、NGO や圧力団体への対応などが扱われる。研修の実施機関は Ethical Trading Initiative という団体が行っており、DfID 資金のほか、企業、労働組合、NGO もスポンサーとなっている。この団体の目的は被雇用者の労働条件を国際的に改善することである。(2月15日)

英国はコンゴ民への人道支援に 6000 万ポンド追加拠出する。この資金は今後 2 年間で難民及び帰還民に食糧と住居を与え、学校の再建、安全な水の供給、医療機材とワクチンを供与することを目的にしている。資金のほとんどは新たに設置された共同基金に払い込まれ、国連の迅速かつ効率的な支援のために提供される。(2月13日)

ロンドンにて第 3 回エイズ児童のための世界パートナーズフォーラムが開催され、英国政府は医薬品メーカー、公共団体、NGO に対してエイズに罹患している子供を救うために新たな利用しやすい治療方法を開発するように呼びかけた。(2月9日)

最貧国の妊産婦死亡率を 2015 年までに国際目標値まで下げることが目標に IPPF が提案した性とリプロの健康を保障するためのサービスに対して英国は 300 万ポンドの拠出を決めた。このサービスでは危険な中絶の廃止、Marie Stopes International への支援が含まれている。(2月6日)

1月14日にタンザニア政府と財政支援を行っている 14 のドナーが援助の予測性を高めるために今後 5 年間の財政支援を規定するパートナーシップフレームワーク協定に署名した。それを受けて英国は 3 年間で 3.1 億ポンドの拠出を行う。資金は毎年第 1 四半期にタンザニア政府の国庫に払い込まれ、貧困削減と生活レベルの向上のために保健医療、教育、給水分野に使われる。(2月1日)

<スピーチ>

ストロー外相はナイジェリアのアブジャで演説し、アフリカの挑戦として従来からの開発、紛争、統治に加えて、新たな課題としてテロ、移民、犯罪と麻薬、エネルギー、環境、イスラム、中国をあげた。中国に関しては、中国のアフリカ進出を歓迎する一方でそれはオバサンジョ大統領と AU が掲げている説明責任を持った民主的な統治、ビジネスの透明性、経済成長、貧困削減、人権と法の尊重に基づくべきと述べ、中国に対して国際社会の中で十分な役割を果たすように働きかけていくと述べた。次に、スーダンのダルフル問題に触れ、ダルフルの停戦に当たっては約束の遵守し、AU や人道支援団体への攻撃の即刻停止、犯罪者の法廷への出頭を強く求めた。(2月14日)

ベン開発相は水フォーラムに関する講演にて DfID の水分野の協力額を 2008 年には現在の倍の 9500 万ポンドに増額し、対象国をエチオピア、コンゴ民、マラウィ、モザンビーク、ルワンダ、タンザニア、ザンビアに広げると表明した。さらに世銀に拠出している資金から 2 億ポンドをアフリカ触媒基金へ移し、水分野での MDG 達成に寄与させると述べた。国連に関しては現在 2 3 機関が水を扱っており、それを大幅に削減して UN Water に調整を委ねるべきと提案した。また、被援助国ごとに水と衛生分野を扱う国連機関を定め、そこに資金を集中させるべきと述べた。(2月7日)

ベン開発相は開発白書に関する演説の中で気候変動、統治、教育、保健医療、社会保障について触れ、統治に関しては最貧国では統治が十分にできておらず、汚職が大きな問題となっているが、この場合も援助を停止すべきではなく、代替手段を考えるべきとし、ケニアでは財政支援を実施する代わりに用途を明確にした(イヤーマーク)資金を投入していると説明した。また、ジンバブエの例では人道援助を政府を通じてではなく、国連や NGO へ資金を提供することで対応しているものの、政府を否定してパラレルシステムで資金を投入するのは長期的な解決にはならないと述べた。(2月2、16、23日)

シャフィク DfID 地域局長が南部アフリカ地域計画を公表し、SADC、AU、NEPAD との連携強化のもとに、成長、雇用と平等、健全な生計、平和と安全を推進させると述べた。(2月28日)

以上